

事務事業名		私立幼稚園就園奨励事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業		
政策体系	政策名	06 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目		
	施策名	26 幼児教育の充実						
	基本事業名	01 就学前教育環境の整備・充実						
根拠法令		大船渡市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和54 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		会計 01 款 10 項 04 目 01 事業 02		
所属	部課名	教育委員会事務局 学校教育課						
	課長名	千田 晃一						
	係名	管理係	電話 27-3111					
	担当者	志田 拓也	内線 291					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)		
この事業は、公立・私立幼稚園間の保護者負担の格差の是正を図ることによって、幼稚園教育の振興に資するため、私立幼稚園の設置者が入園料及び保育料の減免する事業を行う場合に要する経費に対して、補助金を交付するものである。 事業費の内訳は、補助金である。私立幼稚園(海の星幼稚園)長→市へ申請→交付決定→幼稚園へ補助金の交付(口座振り込み)。 補助金の交付の対象は、満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児で、補助額は、所得状況等に応じて、入園料と保育料の減免を行った額である。 この事業は、1/3国庫補助金事業であるが、被災幼児については、10割県補助金事業となっている。						総投入量 (千円)	国庫支出金	
							都道府県支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	
						事業費計(A)	0	
						正規職員従事人数		
						延べ業務時間		
						人件費計(B)	0	
						トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 私立幼稚園就園奨励費補助金として1私立幼稚園(海の星幼稚園)へ支給。(満3歳児11人、3歳児19人、4歳児25人、5歳児20人、合計75人・金額 9,150,800円) 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度同様 ② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 私立幼稚園に就園する幼児 ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 私立幼稚園に就園する幼児の保護者の経済的負担が軽減される。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 支給幼稚園数</td><td>園</td></tr> <tr><td>イ 在園幼児数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 支給幼稚園数	園	イ 在園幼児数	人	ウ	
	名称	単位							
	ア 支給幼稚園数	園							
	イ 在園幼児数	人							
ウ									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 安全・快適に就学前教育が受けられる。	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ 対象幼児数</td><td>人</td></tr> <tr><td>キ</td><td></td></tr> <tr><td>ク</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	カ 対象幼児数	人	キ		ク	
	名称	単位							
カ 対象幼児数	人								
キ									
ク									
	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ 支給割合(支給対象者数/在園幼児数)</td><td>%</td></tr> <tr><td>シ 幼児1人当たり平均支給金額</td><td>円</td></tr> <tr><td>ス</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	サ 支給割合(支給対象者数/在園幼児数)	%	シ 幼児1人当たり平均支給金額	円	ス	
名称	単位								
サ 支給割合(支給対象者数/在園幼児数)	%								
シ 幼児1人当たり平均支給金額	円								
ス									

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	756	884	1,289	1,908	3,355	3,355
		都道府県支出金	千円	1,388	1,998	962	1,199	1,978	1,978
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	2,355	3,028	3,939	6,044	4,733	4,733
		事業費計(A)	千円	4,499	5,910	6,190	9,151	10,066	10,066
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	1,600	100	100	100	100	100
		人件費計(B)	千円	6,400	400	400	400	400	400
		トータルコスト(A)+(B)	千円	10,899	6,310	6,590	9,551	10,466	10,466
⑤活動指標	ア	園	1	1	1	1	1	1	
	イ	人	63	76	81	81	80	80	
	ウ								
⑥対象指標	カ	人	45	53	62	75	75	75	
	キ								
	ク								
⑦成果指標	サ	%	71.4%	69.7%	76.5%	92.6%	93.8%	93.8%	
	シ	円	99,962	111,511	99,838	122,010	134,213	134,213	
	ス								

事務事業ID	0988	事務事業名	私立幼稚園就園奨励事業
--------	------	-------	-------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和54年に、私立幼稚園の入園料や保育料等が公立幼稚園と比較して高額であることから、私立幼稚園に就園する幼児の保護者の経済的負担の軽減を図り、公立幼稚園との格差を解消するため。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	少子化のため入園数の減少(震災以降は増加傾向)。しかし、補助単価の改正や多子世帯要件の緩和などにより幼児一人当たりの支給金額は増加傾向にある。なお、平成27年度より子ども課が担当課となった。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	特になし。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 私立幼稚園に入園することにより、就学前教育が受けられ、豊かな心を育む人づくりに結びつくことになる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 国庫補助事業であり、要綱に定められており、市が実施しなければならない。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 国の基準どおりに、市の要綱を定めており、対象、意図とも妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 国の基準どおりに、市の要綱を定めており、向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 保護者の経済的負担が増加することになり、私立幼稚園の入園幼児数が減少したり、入園料や保育料の未納があると、幼稚園経営の財政状況が圧迫される。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 就園の促進については、幼稚園そのものに援助し、入園料等の減額等を行うことも考えられるが、事業の財源に国庫補助金が入っているため、統廃合は難しい。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 幼稚園教育の振興に大きな役割を果たしているため、事業費の削減は難しい。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 在園幼児全員について、個人情報等を取り扱うため、正規職員が担当すべきであるため、最少限、現在の事務量にはなる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ この事業の趣旨が公立幼稚園との格差是正であるため、適正化の余地はない。

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <p>① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>国庫補助事業であり、国の基準どおりに市の要綱を定めており、適切な事務執行がなされている。</p>																					
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>国庫補助事業でもあり、現在の方法が事業展開にもっと合理的なものであるから、従来どおりとすべきである。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>幼稚園側の経営努力と入園児童数の増加をめざす就学前教育の充実。 平成18年度から導入された、民間幼稚園教育支援補助金との関係上、幼稚園には、事務の煩雑化が伴っているが、保護者の経済的負担の軽減から協力をお願いしている。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果	2次評価者	学校教育課長	千田 晃一
---------------	-------	--------	-------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <p>① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>国庫補助事業であり、適切な事務執行がなされている。</p>																					
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>国庫補助事業であり、今後も現状維持が望ましい。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

### 5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
---------------------